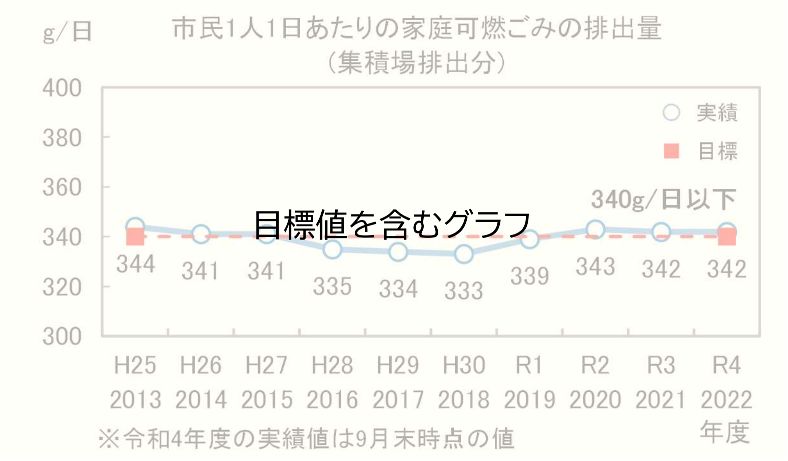
1　循環型社会

栗東市の現状

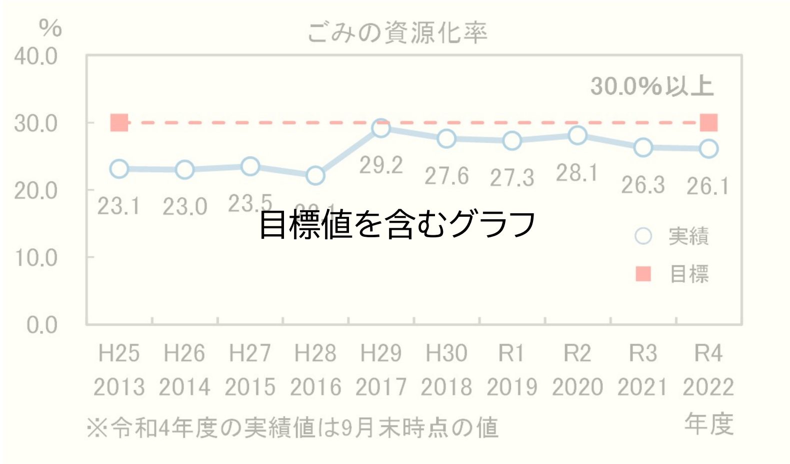
市民１人１日あたりの家庭可燃ごみ排出量



目標
１人あたり**約 16g**/人･日
削減

平成 28（2016）年度に目標を達成し、以降はさらに減少を続けていましたが、令和元（2019）年度に増加し、令和 2（2020）年度から令和 4（2022）年 9 月現在まで、目標が達成されていない状態が続いています。

ごみの資源化率



目標
資源化率 **30%**以上

平成 29（2017）年度に目標値付近まで増加したものの、以降はやや減少し、目標の達成には至っていません。

資源化ごみの内、古紙古着類の回収量が減少しており、各小売店等での古紙回収及びデジタル化によるペーパーレスが要因と考えられます。

可燃ごみの排出量を抑え、資源化率を高めていくことが必要です。

世界のごみ問題

プラスチック廃棄物問題

プラスチックは手軽で耐久性に富み、安価に生産できることから、幅広く使われています。

しかし、使い捨てされることも多いプラスチックは、海洋中に流出して**生態系に悪影響を与え**、焼却処分される際に**温室効果ガスを発生**させるなど様々な側面から環境問題を引き起こしています。

このため、令和 2(2020)年 7 月に施行された改正容器包装リサイクル関係省令で**レジ袋の無料配布禁止**が定められたほか、令和４(2022)年４月に施行されたプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律では、プラスチック使用製品の設計からプラスチック廃棄物の処理まで、プラスチックのライフサイクルに関わるあらゆる主体における**プラスチックの資源循環の取組**(3R+Renewable)を促進するための措置が盛り込まれるなど、規制や対策が取られるようになっています。

年間 800 万トンものプラスチックごみが海に流出しているといわれているよ！
このままでは 2050 年の海は魚よりもごみが多くなる可能性があるよ！

海洋生物への影響

出典:World Oceans Day

海岸での漂着物の事例

出典:環境省

食ロス問題

●世界と日本の食品ロス量

出典：農林水産省 HP
（aff 2020 年 10 月号）

問題まだ食べられるのに、捨てられてしまう食べ物のことを「**食品ロス**」といいます。食べ物を捨ててしまうのは、もったいないだけでなく、地球環境にも悪影響が。今、これからの未来に向けて、食品ロスを減らすためのさまざまな取り組みが行われています。FAO(国際連合食糧農業機関)の報告書によると、世界では食料生産量の3分の1に当たる**約 13 億トンの食料が毎年廃棄**されています。

日本でも1年間に約 612 万トン(2017 年度推計値)もの食料が捨てられており、これは東京ドーム5杯分とほぼ同じ量。日本人1人当たり、**お茶碗1杯分のごはんの量が毎日捨てられている**計算になります

具体的な取り組み

市民

暮らし

・ 生ごみの水切りを行うなど、工夫して家庭のごみを減らす。また、ごみの分別、出し方のルールを遵守し、ごみの資源化に協力する。
・ 今あるものを大切に長く使う。
・ 雨水貯留タンクなどを設置し、雨水を有効活用する。
・ 食材を使い切る、食卓に食べきれる量を上げるなど、食品ロス削減に取組む。

食品ロスの削減で
約8,900円/年節

お買い物

・ 必要な商品のみを購入する。また、購入する場合は、長く使えるものやごみになりにくい商品を選択する。
・ 食品や日用品を購入する際は、簡易包装を選択するなど、ごみの削減に努める。
・ マイバッグなどを持参する。割りばし、使い捨てのスプーンやフォーク等をもらわない。
・ エコマークやグリーンマークなどの環境ラベルを目安に、環境負荷の少ない製品を選ぶ。
・ リサイクルショップやフリーマーケット、リサイクルに関するスマートフォンのアプリ等を活用するなど、ものを再利用する。

お出かけ

・ ごみを捨てる際は、外出先のごみ処理ルールに従う。
・ ポイ捨てをしないなど、ルールを守るとともに、地域の美化活動に参加・協力する。
・ マイボトルを持ち歩く

マイボトル活用による飲み物代節約、ごみ削減による
有料ごみ袋代の節約で約3,800円/年お得！

事業者

・ 再生利用できる製品や再資源化しやすい製品を販売・利用する。
・ 物品等を購入する際は、ごみの少なくなるような環境配慮製品を選ぶ。
・ 在庫数量の適正化や管理の徹底により、原材料や商品のロスを削減する
・ 事業活動に伴って発生する廃棄物を適正に処理する。
・ エコバックの利用を推進する。
・ 商業施設における資源ごみ回収のサービス化を図る。
・ 両面コピー、ペーパーレス化を推進する。
・ 雨水貯留タンクなどを設置し、雨水を有効活用する。
・ 使い捨て製品の製造販売や過剰包装を見直す。

身近なエコラベル

R100 古紙パルプ配合率100%再生紙を使用
再生紙使用マーク

エコマーク

バイオマス No.000000
バイオマスマーク

牛乳パック再利用
牛乳パック
再利用マーク

PETボトル 再利用品
PET ボトル
再利用品

出典：環境省「環境ラベル等データベース」

滞在者

- ごみの分別、出し方は市のルールを遵守し、ポイ捨てなどをしない。
- マイバッグなどを持参する。割りばし、使い捨てのスプーンやフォーク等をもらわない。
- エコマークやグリーンマークなどの環境ラベルを目安に、環境負荷の少ない製品を選ぶ。

市

- 市民や事業者により構成される市民団体の栗東市ごみ減量リサイクル推進会議は、ごみ減量活動として研修会の開催や広報発行などの啓発活動、美化活動に取り組んでいます。

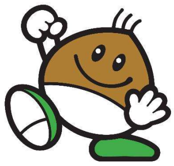
【主な活動】

- ごみ・リサイクル探検ツアー
- 環境を考えるポスター募集
- ごみ減量とリサイクルに関する学習会
- 年末ごみ拾い
- 広報誌「ごみスリムりっとう」を年２回発行

ごみスリムりっとう

Point!

「生ごみ減量化推進補助金」をご存じですか？

市ではごみ減量対策として、栗東市の家庭から出る生ごみを堆肥化するコンポスト・機械式生ごみ処理容器（以下「生ごみ処理容器」）設置者（世帯）に対し、補助金を交付しています。

←くわしくはこちらをチェック！
栗東市 HP「生ごみのリサイクル・減量を始めましょう！」